

公益財団法人京都伝統産業交流センター
令和7年度事業報告

1 伝統産業に関する振興及び啓発事業

(1) 未来の担い手・使い手の育成に関する取組

ア 子どもたちのための伝統産業・伝統工芸体験事業

文化庁からの委託金等を活用して、次代を担う子どもたちを対象として、伝統産業の産地組合等と連携し、職人の指導の下、伝統産業・伝統工芸の制作体験事業を実施しました。会場については、児童館等の児童福祉施設や教育・学習施設、和の文化・和の設えの施設などにおいて実施することで、多くの体験機会を創出しました。

また、令和5年度から引き続き、民間からの寄付金を活用して、文化財の保存修復等に携わる事業者による実演・解説・制作体験事業を実施したほか、令和6年度から引き続き、3日間にわたる連続講座や各種助成金を活用した体験事業、京都市が「伝統産業の日」に合わせて実施する中高生等向けきもの着付け体験と連携した事業を実施しました。

令和7年度は、新たに函谷鉾町会所（役員のご紹介）や金戒光明寺、イオンモール北大路（(公財)イオンワンパーセントクラブ助成金を活用）等において体験事業を実施しました。（一部の事業は新聞に掲載、ケーブルテレビで放映されました。）

このほか、役員から今熊野観音寺、誓願寺、知恩院、薫風館、東本願寺をご紹介いただき、現地で打合せのうえ、今後の候補地とさせていただきました。

<実績> ※ 詳細は別紙のとおり

施設等	会場	実施回数	参加人数
和の文化・和の設えの施設	函谷鉾町会所、金戒光明寺等	22	388
児童館等	市内児童館、学童クラブ等	39	1,826
児童養護施設等	市内児童養護施設等	5	91
教育・学習施設、公共施設等	京都伝統産業ミュージアム等	39	495
計		105	2,800



東福寺制作体験（京仏壇・京仏具）



金戒光明寺制作体験（京銘竹・竹工芸品）



函谷鉾町会所制作体験（京房ひも）



児童館制作体験（京友禅）



児童館制作体験（京焼・清水焼）



連続講座（クイズラリー）

祇園祭飾る房ひも挑戦

下京で体験催し 子ら匠の技学ぶ

子どもが伝統工芸を市内から小学生28人が体験するイベントが15日、京都市下京区の函谷鉾町会所であった。参加者が職人の指導を受けて祇園祭ゆかりの房ひもを作り、匠の技を学んだ。

伝統産業の担い手を育てようと、市などが開く体験事業の一環。で花びらの部分を一つ一つかたどった。携帯用のストラップに仕上げ、洛中洛小3年の西田奈史さん（9）は「難しかったけど、最後に結べて楽しかった。家でも試してみたい」と話した。（晁原裕）

子どもたちは、祇園祭の鉾やみこし、数珠などを飾る市指定の工芸品「京房ひも」を使い、代表的な菊結びに挑んだ。「心を込めて優しく扱って」と職人の助言を受け、ひもを折り紙のようにたたんで

職人の指導を受け、京房ひも作りに挑む児童たち（京都市下京区・函谷鉾町会所）

函谷鉾町会所制作体験（11/16(日)京都新聞（朝刊））

イ 学校における伝統産業授業の活性化支援

学校における伝統産業授業の活性化を支援するため、伝統産業について学ぶ授業等への講師派遣や工房訪問のプログラムのコーディネート、成果発表展の開催支援などを実施しました。

なお、立命館宇治高等学校へは、令和3年度から継続して支援してきましたが、令和7年度からはこの間に培われたネットワークやノウハウを活かし、学校（生徒）が各工房と直接やり取りできるようになりましたので、当財団による支援は不要となりました。

<実績>

実施日	学校等	内容
6月25日	大谷大学	令和8年度、「伝統産業の振興」を題材としたPBL型授業（Problem Based Learning（問題解決学習））を実施するため、協力依頼を受ける。 ⇒ プログラムの企画立案時から参画（授業等への講師派遣、工房訪問などを実施予定）
8月28日	洛星高等学校 （学校法人ヴァイアートル学園）	令和7年度下半期、2年生を対象とした土曜講座「ベンチャービジネス入門」というアントレプレナーシップ（起業）教育において、京都の伝統工芸をテーマにすべく、協力依頼を受ける。 ⇒ 洛星高等学校OBの事業者2社を紹介
9月16日 9月18日		紹介先となる事業者2社への訪問付き添い
10月7日	大谷大学	今後の進め方について打合せ ⇒ 今後、大学側において希望する伝統産業の品目などを調整したうえで、事業者を紹介（令和8年度から3箇年程度の支援を予定）。
11月22日	洛星高等学校 （学校法人ヴァイアートル学園）	<学校の都合により急遽中止> 土曜講座「ベンチャービジネス入門」（第2回目） 紹介事業者2社による自らの企業紹介、企業・業界が抱える課題に関する講演及び意見交換を行う。 【当初予定していたスケジュール】 12月～1月：学生からの中間提案 3月：最終提案
12月10日	京都産業大学	京都伝統産業ミュージアム見学及びヒアリング（財団職員）
12月21日	京都産業大学	事業者ヒアリング（オンライン）付き添い 【業種】 京仏壇・京仏具、京都の金属工芸品、京焼・清水焼、和裁
1月9日 1月19日	京都市立 京都工学院高等学校	漆工芸の授業における蒔絵・螺鈿の工芸品（3点）の出張展示（対象：2年生、4クラス88名） ⇒ 京都伝統産業ミュージアムと連携し、貸し出しを行った。
1月14日	京都産業大学	研究成果発表会（オンライン）への講師（財団職員）派遣
1月16日 1月19日	京都市立 栄桜小中学校	伝統産業に関する授業への講師（京仏壇・京仏具）の派遣（対象：小学4年生、3クラス65名）

1月21日		⇒ 京都市子ども若者はぐくみ局が所管するインスタグラムアカウント「子育て応援情報をお届け『はぐく〜も KYOTO』』において情報発信。
-------	--	---



授業における工芸品の出張展示
(京都市立京都工学院高等学校)



授業への講師派遣
(京都市立栄桜小中学校)

(2) 伝統産業製品の生活回帰、定着の促進に関する取組

ア 「匠」ふれあい事業

国際会議などのMICE関連イベントの主催者等からの依頼に応じて、伝統産業に従事する職人を派遣し、制作実演などを行うことで、伝統産業への関心喚起、理解促進を図りました。

令和7年度は、新規取組として、「匠@文化財」連携事業 京の文化財を支える「匠の技」連続実演会」などを実施し、文化財と関わりがある伝統産業の技の披露を行い、新たな層への情報発信を行うことができました。(一部の事業は新聞にも掲載されました。)

<実績>

実施日	イベント等名称	会場	派遣人数	業種
4月5日、6日	手描友禅染作品展「桜」	京都伝統産業ミュージアム	2	京友禅
5月3日、4日	初夏の象嵌展	京都伝統産業ミュージアム	2	京象嵌
8月2日、3日、9日、10日、16日、17日	日本のそめおり展	京都伝統産業ミュージアム	6	京友禅

8月10日、 11日	KYOTO in TOKYO presented by 京都館 (高輪夏まつり)	グランドプリンスホテル 新高輪	10	京うちわ、 京菓子、 京七宝
9月10日、 11日	「仏の匠」クラフ トウィーク しつ らへ展	京都伝統産業ミュージアム	2	京仏壇・京仏 具
12月5日	伝統産業体験	京都刑務所	1	京指物
12月6日～ 3月10日 (うち13日)	「匠@文化財」連 携事業 京の文化 財を支える「匠の 技」連続実演会	無鄰菴、岩倉具視幽棲旧宅及び 旧三井家下鴨別邸	14	京焼・清水焼、 京表具、京金 網、京たたみ等
12月13日、 14日	京七宝マルシェ	京都伝統産業ミュージアム	2	京七宝
1月21日	京都 FAIR2026 「京都を味わう会」	丸北カフェ (丸の内北口ビル内)	1	京漬物
2月8日	絵本&クラフト フェスタ	イオンモールKYOTO	20	北山丸太、唐 紙、かるた等
2月13日	京都マラソン (ランナー受付)	京都市勧業館みやこめっせ	4	京漆器、京 焼・清水焼、 京印章、京こま
2月22日	未来創造！ 京都府中小企業 組合フェア	京都市勧業館みやこめっせ	9	京鹿の子絞、 京友禅、京漆器、 京印章、京七宝
3月14日、 15日	うるおい漆展	京都伝統産業ミュージアム	2	京漆器
3月18日～ 24日 (全7日)	未来を紡ぐ 京の 若き作り手たち	大丸京都店	10	京漆器、京都 の金属工芸品、 結納飾・水引工芸等
3月21日、 22日	KYOTO in TOKYO presented by 京都館 (高輪桜まつり)	ザ・プリンス さくらタワー 東京	14	京仏壇・京仏 具、京印章、 京菓子
合計			99	

イ 他ジャンル、時事問題とコラボした周知・啓発事業

伝統産業が今日的なニーズや課題に対応し、人々の生活に入り込み、定着することを促進するため、SDG s、環境問題などの時事問題とコラボレーションしたワークショップやイベントを実施しました。(一部の事業は新聞に掲載、ケーブルテレビで放映されました。)

<実績>

実施日	イベント等名称	内容
12月14日、20日	京都の伝統産業・伝統工芸から学ぶSDG s	環境学習施設「さすてな京都」において、SDG sと京都の伝統産業の繋がりを学ぶワークショップ(京仏壇・京仏具、京こま)を実施
12月20日	科学×京都の伝統産業・伝統工芸	京都市青少年科学センターにおいて、科学的な視点も交えた京都の伝統産業のワークショップ(型友禪)を実施
1月25日	環境×京都の伝統産業・伝統工芸	COP3記念館「京エコロジーセンター」において、環境問題と京都の伝統産業の繋がりを学ぶワークショップ(京鹿の子絞)を実施



京都の伝統産業・伝統工芸から学ぶSDG s(さすてな京都)



科学×京都の伝統産業・伝統工芸(京都市青少年科学センター)



環境×京都の伝統産業・伝統工芸(京エコロジーセンター)

2/15(日)京都新聞ジュニアタイムズ

(3) 作り手等が行う伝統産業活性化の取組支援に関する取組

ア 課題等解決支援

伝統産業の産地組合や職人の抱える課題、困りごとなどについて、相談受付、情報提供、意見交換、活動機会の提供などを通じて、その解決に向けた支援を行いました。令和7年度については、11月11日には第8回京都伝統産業連絡会議を開催し、若林評議員長から「京都の伝統産業の過去・現在・未来」をテーマにご講演をいただいたほか、子どもたちのための伝統産業・伝統工芸体験事業にご参画いただいている産地組合の皆様から実施状況等をご報告いただき、そのノウハウ等の共有を行うとともに、意見交換等を行う場として活用しました。

また、伝統産業・伝統工芸体験やイベント等において、伝統産業製品の展示・販売の機会を創出しました。

イ 作り手が行うイベント・展示会等支援

産地組合等がMOCA Dギャラリー等で行うイベントや展示会などの活動を支援するため、会場の関係者との調整、財団保有の展示什器の貸与などを実施しています。

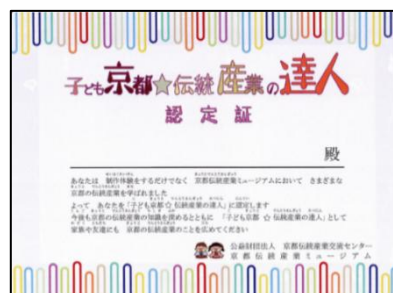
また、令和7年度の新規取組として、産地組合等の支援を目的に、各自で発行されている業界や伝統産業品目の周知・啓発リーフレット等を対象にした外国語（英語）への翻訳支援を行いました（4団体（京友禅協同組合連合会、清水焼団地協同組合、京都陶磁器卸協同組合、京都木工芸協同組合））。

2 京都市勸業館常設展示場（京都伝統産業ミュージアム）の展示等事業

令和3年度から京都市勸業館常設展示場（京都伝統産業ミュージアム）の施設の管理・運営業務は京都市勸業館の指定管理者が行っていますが、伝統産業の産地組合等との繋がりを基礎とした当財団として、各産地組合等と連携しながら、京都市の伝統産業製品74品目を紹介する「74 CRAFTS WALL」などにおける展示、解説等への協力を行いました。

また、令和5年度からの継続事業として、当財団の子ども体験事業の参加者を京都伝統産業ミュージアムに誘導し、京都市の伝統産業製品74品目を学んでいただいたうえで、「子ども京都☆伝統産業の達人認定証」を交付する取組を実施しました。加えて、当該認定証を交付済みの子どもが、子ども体験事業に再度参加し、京都伝統産業ミュージアムで学習を行った際に、「ステップアップ認定ステッカー」を交付する取組も行っています。

（令和7年度交付実績：達人認定証71件）



3 その他

(1) 運営体制の充実を図るための取組

- 令和7年11月 第43回理事会にて「公益財団法人京都伝統産業交流センター ガバナンス・コード（案）」を議題として上程、公益法人としての使命目的、各機関の権限（役割）と運営、理事会の運営方針、情報公開・説明責任・透明性、個人情報保護、コンプライアンスなどの取扱いを議論
- 令和8年3月 第44回理事会にて「公益財団法人京都伝統産業交流センター ガバナンス・コード（案）」を議決、議決のあった日から適用を開始するとともに、当財団ホームページに掲載
- 以降、改めて当該ガバナンス・コードを役員等と共有し、当財団の社会的信頼と透明性の確保、法令遵守（コンプライアンス）体制の構築、リスク管理の強化などに取り組む基本的方針としています。

(2) 外部資金獲得

子どもたちのための伝統産業・伝統工芸体験事業の実施に際して、令和3年度から継続して文化庁委託金を獲得するとともに、令和6年度から継続して（一財）三洋化成社会貢献財団からの寄付金及び（一財）京都陶磁器協会助成金を獲得しました。加えて、令和7年度新規に（公財）イオンワンパーセントクラブ助成金を獲得しました。

また、文化財保護等に係る事業者の実演、解説、制作体験事業の実施に際して、令和5年度から継続して、（公財）日新電機グループ社会貢献基金からの寄付金を獲得しました。

(3) 関連団体・会議等への協力

田中理事長をはじめとする当財団の役員が、伝統産業に関連する団体の役員等に就任し、助言・提案等を行うとともに、各種事業への後援等を行うなど、伝統産業に関する取組等への協力を行いました。

<実績>

協力先	協力内容
委員等への就任	
京都市	京都市伝統産業活性化推進審議会委員及び同審議会審査選考部会委員就任（田中理事長）
京都市	京都市伝統産業活性化推進審議会審査選考部会委員就任（後守専務理事）
「伝統産業の日」実行委員会 （事務局：京都市）	「伝統産業の日」実行委員会委員長就任（田中理事長）

Living History in 京都・二条城協議会（事務局：京都市）	Living History in 京都・二条城協議会委員就任（後守専務理事）
京都府仏具協同組合	京都府仏具協同組合主催「後継者育成事業研修会」講師（後守専務理事）
(株)京都産業振興センター	(株)京都産業振興センター取締役就任（田中理事長）
(株)京都産業振興センター	(株)京都産業振興センター参与就任（後守専務理事）
(学)大原学園 大原和服専門学園	文部科学省「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」委託事業「着物文化の未来を担う専門人材育成のための教育基盤整備事業」専門家委員会委員就任（後守専務理事）
後援・共催等	
(一社)京都物産出品協会	「京都展」への協賛
(株)京都産業振興センター (京都伝統産業ミュージアム)	「TRADITION for TOMORROW」The 2nd KYOTO CRAFTS and DESIGN COMPETITION の共催
京都手描友禅協同組合青年会	手描友禅染作品展「桜」の共催
京都佛像彫刻家協会	第 65 回京都佛像彫刻展の共催
京都府象嵌振興会	初夏の象嵌展の共催
京都府仏具協同組合	「仏の匠」クラフトウィークの共催
下京区ふれあい事業実行委員会及び京都市下京区役所地域力推進室	「～子どもお仕事・伝統産業体験～グッジョブ！キッズフェスタ in 下京」への協力（職人紹介）
京友禅協同組合連合会及び京都手描友禅協同組合	京友禅総合展（第 31 回京手描友禅作品展）への後援
(株)ビジネスガイド社	第 7 回京都インターナショナル・ギフト・ショー2026 への後援
京都漆器青年会	うるおい漆展の共催

(4) 情報発信

京都伝統産業ミュージアムの施設の管理・運営業務の指定管理者への移管を機に、従来のホームページは当該指定管理者に引き継ぎ、併せて、新たな当財団ホームページを開設し、体験事業等の告知、活動報告、京都の伝統産業の紹介など積極的な情報発信を行っています。

また、令和7年度の新規取組として、財団事業等の紹介リーフレットを制作しており、今後、各種事業で連携を依頼する団体や関係部署等に積極的に配布していきます。

公益財団法人京都伝統産業交流センターホームページ

URL : <https://fpkti.or.jp/>

